

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	
Title(English)	FIRM STRATEGY INSIGHTS FROM BUSINESS ECOSYSTEM FORMATION DYNAMICS
著者(和文)	GuptaRanjit
Author(English)	Ranjit Gupta
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第11538号, 授与年月日:2020年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:梶川 裕矢,辻本 将晴,日高 一義,後藤 美香,仙石 慎太郎
Citation(English)	Degree:Doctor (Academic), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第11538号, Conferred date:2020/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	審査の要旨
Type(English)	Exam Summary

(博士課程)

論文審査の要旨及び審査員

報告番号	甲第	号	学位申請者氏名	Ranjit Gupta		
論文審査 審査員		氏名	職名		氏名	職名
	主査	梶川 裕矢	教授	審査員	仙石 慎太郎	准教授
	審査員	辻本 将晴	准教授			
		日高 一義	教授			
		後藤 美香	教授			

論文審査の要旨（2000字程度）

本論文は「FIRM STRATEGY INSIGHTS FROM BUSINESS ECOSYSTEM FORMATION DYNAMICS」と題し、学術論文データならびに企業データを用いて、エコシステム研究の構造ならびに企業戦略動向を分析したものであり、英文5章からなる。

第1章「INTRODUCTION」では、本研究の背景、本論文の目的およびその構成が述べられている。エコシステム戦略が企業に与える影響に関する既存の企業事例、および、先行研究について解説がなされるとともに、特に、エコシステムの形成初期過程におけるサプライチェーン構築戦略の重要性が指摘されている。

第2章「ECOSYSTEMS CLASSIFICATION」では、エコシステム研究の計量書誌分析がなされている。エコシステムはイノベーションや企業戦略に対して新たな視点を提供する重要な概念として、多くの学術研究で取り上げられているが、その定義や用法は必ずしも明確に定まっていない。本章では、エコシステム研究の中で論文数の多い、イノベーションエコシステム、ビジネスエコシステム、デジタルエコシステムを取り上げ、包括的な文献調査がなされている。また、学術論文データを用いた計量書誌分析により、それぞれの中心的なトピックならびに横断的なトピックの分析がなされている。分析結果に基づき、3つのエコシステム研究領域を統合する新たなフレームワークが提示されている。

第3章「CASE STUDY OF ELECTRIC VEHICLES ECOSYSTEMS」では、企業買収・出資等のデータを用いた電気自動車におけるビジネスエコシステムの構造分析がなされている。データおよび分析結果に基づき、萌芽期にあるビジネスエコシステムにおいて中心的な役割を果たしているアクターの抽出並びに戦略の分析がなされている。また、各アクターを中心とする複数のビジネスエコシステム間の関係性の分析がなされている。分析結果に基づき、ポートフォリオ拡大、上流統合、下流統合、多角化拡充、マーケットエントリーという5つの戦略類型を提示している。また、各国の産業政策ならびにバリューチェーンとの関係性についての考察がなされている。

第4章「CASE STUDY OF IOT LINKED ECOSYSTEMS」では、第3章と同様のデータおよび分析手法を用いて、Internet of Things (IoT)のビジネスエコシステムの構造分析がなされている。IoTのビジネスエコシステムにおける中心的なアクターおよびその戦略、ビジネスエコシステム間の関係性の分析がなされている。活用と探索という理論的枠組みをもとに、マーケット志向、技術探索という企業買収・出資等における2つの異なる性向を定量的に分析することで、各企業の異なる戦略ダイナミクスのパターンを見出している。

第5章「DISCUSSION AND CONCLUSION」では、第3章および第4章の事例研究の結果を総合し、ビジネスエコシステムにおける戦略類型等についての考察がなされている。また、今後のエコシステム研究の展望として、ビジネスエコシステムのみならず、イノベーションエコシステム、デジタルエコシステムならびにそれらに対する横断的な観点から研究を行っていくことの重要性が指摘されている。

以上、本論文では、計量書誌分析によりエコシステムについての概念整理を行うとともに、イノベーションエコシステム、ビジネスエコシステム、デジタルエコシステムを統合する包括的なフレームワークの提示がなされている。また、電気自動車およびIoTにおける事例研究を実施することで、企業が選択し得る戦略類型を提示している。構築した統合的エコシステムフレームワークが有する学術的な貢献に加え、事例研究を通じて抽出した戦略類型の実務上の貢献が確認できることから、本論文を博士（学術）の学位論文として十分な価値を有するものと認める。

注意：「論文審査の要旨及び審査員」は、東工大リサーチポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。